

# 茨城県医師不足緊急対策行動宣言

～茨城の医療を守るために～

---

茨城県

平成30年2月23日

# 茨城県医師不足緊急対策行動宣言

- この夏の選挙期間中、私は、県内を隈無く巡る中で、県民の皆様から直接、医師不足の現状を訴える声を数多くお聞きした。
- また、昨年12月に公表された最新の医師数の状況を見ても、人口10万人対医師数は、平成14年以降連続で全国ワースト2位の状況にある。
- 現時点の推計では、2030年代前半には医師数は充足するものと見込んでいるが、地域偏在等の課題は依然として残る。
- さらに、団塊の世代が75歳以上となるいわゆる2025年問題も乗り越えていかなければならず、医師確保対策は、まさに今が正念場である。
- このため、これまでの常識にとらわれず、新たな発想により、あらゆる手段を講じ、県民一丸となって医師確保対策に取り組むべく、  
ここに、**『茨城県医師不足緊急対策行動宣言』**を行い、  
政策パッケージ（別添）を速やかに実行する。

平成30年2月23日 茨城県知事 大井川 和彦

■ 抜本的解決に向けチャレンジする **5** つの政策

(H30当初予算計：2,276,437千円)

- **政策 1 『攻め』の姿勢で新たな視点からの医師確保**  
(H30当初予算：104,580千円)
- **政策 2 夢や希望を描ける『魅力』ある環境づくり**  
(H30当初予算：1,037,669千円)
- **政策 3 『医志』の実現を全力バックアップ**  
(H30当初予算：747,007千円)
- **政策 4 地域医療の『コントロールタワー』確立**  
(H30当初予算：64,881千円)
- **政策 5 医療体制の充実で医師を『サポート』**  
(H30当初予算：322,300千円)


# 具体的な取組


---

# I 『攻め』の姿勢で新たな視点からの医師確保

知事を先頭に  
足で稼ぐ営業

 新たに『**いばらき医療大使**』を任命。全国の医科大学へ積極的なリクルーティングを展開。

 県外で活躍する本県ゆかりの医師へアプローチ。ふるさとへのUIJターンを促進。

 **外国医師**を積極的に受け入れる医療機関を手厚くサポート!!

- ✓ **医科大学の新設・誘致**に向けた調査検討など常識にとらわれず、あらゆる可能性にチャレンジ!!

 ➡ 喫緊の課題である地域の政策医療を担う医療機関の医師確保を目指す施策

## Ⅱ 夢や希望を描ける『魅力』ある環境づくり

---

- ✓ 女性医師をみんなで応援。  
**病児保育支援体制**を県内全域に拡大。
- ✓ 県内医師を海外派遣。高度な診療技術・指導力の向上をサポート!!
- ✓ 研修・指導体制の充実や最新医療機器の整備により  
**医師のキャリアアップ**を全面的にバックアップ!!
- ✓ 県立病院における**教育・研修・派遣機能**の充実強化により  
県内で活躍できる医師を育成。



全国トップレベル  
の体制を目指す

## Ⅲ 『医志』の実現を全力バックアップ

- ✓ 金融機関との提携により**在学中『実質金利ゼロ』の教育ローン**を創設。医学部進学の実現を応援。
- ✓ 修学資金貸与者の拡大により将来のいばらきの医療を担う医師の誕生を支援。
- ✓ 県立高校への**医学コースの設置**や私立高校等への医学部進学実績に応じた補助など、あらゆる手段で“医師の卵”を最大化。

都道府県レベル  
では全国初



# IV 地域医療の『コントロールタワー』確立

- ✓ 医師確保に必要な機動的で弾力的な事業運営を実現するための“**新 地域医療支援センター**”を確立。

オールいばらきの  
の体制構築

- ✓ 全県一体となって若手医師のキャリア形成を全力で支援。

- ✓ 医師偏在解消の司令塔として、地域の医師不足病院への医師派遣をコントロール!!





# V 医療体制の充実で医師を『サポート』

- ✓ **ICT・AIを活用**した遠隔医療や在宅医療の推進により医師不足をカバー!!
- ✓ **医療機関の機能分担や再編統合**を進め、医師不足を補える医療提供体制を構築。
- ✓ 看護職員等の医療従事者の確保による**チーム医療体制の充実**により医師の負担を軽減。

